

令和8年度都立東大和高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」の指導の充実 ・「話すこと・聞くこと」の指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認 ○日本文化に親しむための文化的取組 ○「話し合うこと」の指導に関する言語活動に関する教科内研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内百人一首大会・ビブリオバトルの開催 ○オンライン活用時の「話し合うこと」についての指導方法の開発 ○各種コンテストの応募 ○手紙の書き方講座の実施
地歴公民	<ul style="list-style-type: none"> 「社会的な見方・考え方」を培う指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ●比較と分類:何が同じで何が違うのかを整理する ●因果関係の追求:資料(地図や統計)を基に分析する ●ロールプレイ:異なる立場になりきって、一つの課題を眺めてみる 	<ul style="list-style-type: none"> ●合意形成のシミュレーション:利害が対立する場面で「効率」と「公正」のバランスを考えたルールを考案する ●多角的評価:ある政策や技術に対し、多面的にメリット・デメリットを評価する ●社会参画:分析した結果を基に、実際に行動に移す
数学	<ul style="list-style-type: none"> 数学を活用して事象を論理的に考察する活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する活動を重視した授業を実施 ・問題解決において論理的に考察する活動に関する教科内研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度の評価を取り入れた授業の実施
理科	<ul style="list-style-type: none"> 基礎基本の充実と科学的思考力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストや確認テストなどを通し、基礎基本の定着を徹底して、実用レベルに引き上げる。 ・実験、実習、観察や、ICT機器の活用などを多く取り入れ、多面的な学習活動を行うとともに、生徒には、一人一台端末を積極的に活用させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の相互観察を実施し、指導方法の改良を図る。 ・模擬試験の分析をし、生徒の学習課題を検討する。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・体力の向上 ・健康の増進 ・スポーツの振興 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テスト全都1位を目指す。 ・生活習慣病や保健衛生、環境について考え、将来を見据えて行動できる人材の育成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力のさらなる向上に向け、科学的根拠に基づいたトレーニングを行う。 ・健全な心身を育むことのできる、環境の充実と、教材の開発 ・部活動を活性化し、スポーツを生涯楽しむことのできる土台を作る。
芸術	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器や生成AIを活用した学習活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞においてICT機器を活用し、生徒自身がスライドを作成しプレゼンテーションすることでより主体的に取り組める工夫をする。 ・生成AIを活用した取組を活用し、より深い学びになるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を用いた作品の提出(デザイン、楽譜、音源など)をさせる ・生成AIによるデータ分析や3Dプリンターなどを活用し、生徒が特に関心を示した活動にはより深い取り組みが出来る課題を準備する。
英語	<ul style="list-style-type: none"> 英語に必要な「4技能」を身につけさせる指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙や文法知識を定着させるための小テストを計画的に実施する。 ・教科書以外のリスニング、速読教材を活用する。 ・JET、ALTとの授業で、Activityを多く取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英検等の外部試験の指導を重点強化する。 ・入試対策としてリスニングとリーディングの指導を充実させる。 ・TGG後に体験に基づく授業内でのスピーチ活動を強化する。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 実践的・体験的な学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の機会の充実 ・一人一台端末(タブレット)を活用した授業の充実 ・グループワークを活用した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動の推進 ・映像教材等を活用し、具体的なイメージを持たせる授業の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な場面を想定した授業 ・他教科との関わりを把握した授業展開
情報	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決につなげる実習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書選定時に、問題解決や協働学習を多く掲載しているものを選定 ・データ活用でグループによる探求的な学習を実施 ・授業ごとにワークシートを提出させ、理解度を把握する 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミングではアプリケーション開発を実施 ・生成AIを用いた画像生成